



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月15日

上場会社名 株式会社ロココ 上場取引所 東
 コード番号 5868 URL https://www.rococo.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 一彦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理副本部長 (氏名) 水野 賢仁 (TEL) 03(6851)0655
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	2,388	12.8	93	△52.6	94	△54.1	43	△69.5
2025年12月期第1四半期	2,117	9.1	197	61.3	206	62.8	142	77.1

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 49百万円(△62.3%) 2025年12月期第1四半期 131百万円(48.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	11.65	11.47
2025年12月期第1四半期	38.16	37.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	4,810	2,879	59.9
2025年12月期	4,997	2,960	59.2

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 2,879百万円 2025年12月期 2,960百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,304	12.1	610	16.3	603	19.5	409	29.0	109.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年12月期1Q	3,727,900株	2025年12月期	3,727,100株
2026年12月期1Q	一株	2025年12月期	一株
2026年12月期1Q	3,727,291株	2025年12月期1Q	3,724,564株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、本決算短信とあわせて、四半期決算補足説明資料を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、緩やかな景気回復基調が続きましたが、イラン情勢の緊迫化による内需及び外需への影響が懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

情報サービス業界においては、労働人口の減少傾向や業務効率化のニーズを背景にデジタル技術を活用したDX推進に関する投資が引き続き拡大しており、その傾向は今後も続くものと見込まれます。

このような市場環境の中、新規案件の獲得や前年度に新たに取得した子会社により、売上は概ね好調に推移しました。利益面においては、売上増加に伴って売上総利益は増加したものの、一部の事業で原価率が上がった他、販売費及び一般管理費が増加しました。販売費及び一般管理費が増加した要因としては、前年度にポーランドに研究開発拠点を新設して研究開発を加速させていること、障がい者就業施設としてロココファームを開設したこと、更なる売上拡大を目指してユーザー会を発足したこと、採用活動や研修に係る費用が増加していること、前年度に取得した子会社に係るのれん償却費が計上されていること等があげられます。

以上の結果、売上高は、2,388,798千円（前年同期比12.8%増）、営業利益は、93,679千円（前年同期比52.6%減）、経常利益は、94,684千円（前年同期比54.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、43,412千円（前年同期比69.5%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ITO&BPO事業

当セグメントでは、ITサービスマネジメント事業及びカスタマーコミュニケーション事業において、新規顧客・新規案件の獲得やスポット案件の受注等により、売上が好調に推移しました。イベントサービス事業及びソリューション事業においては、コンサート入場に関連した大型の顔認証案件を受注したことや新規案件の獲得により、売上が増加しました。一方、上述した要因により、販売費及び一般管理費が増加しました。

以上の結果、売上高は1,622,552千円（前年同期比18.7%増）、セグメント利益(営業利益)は、85,372千円（前年同期比31.7%減）となりました。

② クラウドソリューション事業

当セグメントにおきましては、前年度に新規取得した子会社の生成AI事業が当セグメントの売上増加に大きく寄与しましたが、まだ安定した利益獲得には至らず、のれん償却費の負担もあり、損失を計上しました。HRソリューション事業では、新規顧客の獲得等により、売上及び利益が増加しました。ServiceNow事業においては、前年同期比で新規開発案件の受注が減少し、売上及び利益ともに減少しました。システムソリューション事業の売上は微減となりました。また、上述した要因により、販売費及び一般管理費が増加しました。

以上の結果、売上高は、750,160千円（前年同期比4.8%増）、セグメント利益(営業利益)は、24,266千円（前年同期比65.5%減）となりました。

③ その他

海外事業におきましては、外部顧客への売上高は減少したものの、グループ内の売上高が増加し、売上高合計としては横ばいとなりました。費用面では、一部の子会社で人員数増加や賃率上昇のために人件費が増加した他、為替レートの変動により為替差損が生じました。

以上の結果、売上高は、108,513千円（前年同期比0.2%増）、セグメント損失（営業損失）は、15,958千円（前年同期はセグメント利益2,159千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ179,835千円減少し、3,296,992千円となりました。主な要因は、現金及び預金が297,579千円減少し、売掛金及び契約資産が20,937千円、前払費用が93,659千円、それぞれ増加したことによります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比べ7,062千円減少し、1,513,525千円となりました。主な要因は、広島営業所開設等のため建物が7,671千円増加した一方、償却によりのれんが20,663千円減少したことによります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ56,759千円減少し、1,363,851千円となりました。主な要因は、未払費用が社会保険料の支払い等により273,780千円減少し、賞与引当金が繰入れにより184,576千円、買掛金が64,378千円それぞれ増加したことによります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ49,514千円減少し、567,291千円となりました。主な要因は、返済により長期借入金が58,941千円減少したことによります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ80,698千円減少し、2,879,498千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益43,412千円の計上により利益剰余金が増加し、配当130,448千円により利益剰余金が減少したためとなります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想につきましては、2026年2月13日に公表いたしました通期業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績予想につきましては、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の様々な要因により予測数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,944,955	1,647,376
売掛金及び契約資産	1,357,888	1,378,825
仕掛品	785	5,373
貯蔵品	2,525	2,915
その他	171,028	262,770
貸倒引当金	△355	△268
流動資産合計	3,476,827	3,296,992
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	125,280	132,952
工具、器具及び備品(純額)	20,924	24,125
土地	9,506	9,506
有形リース資産(純額)	72,912	68,407
有形固定資産合計	228,623	234,991
無形固定資産		
ソフトウェア	46,756	42,258
のれん	389,428	368,764
ソフトウェア仮勘定	1,133	3,937
無形固定資産合計	437,317	414,960
投資その他の資産		
投資有価証券	260,722	260,722
繰延税金資産	49,904	50,028
保険積立金	258,866	265,560
その他	288,402	290,511
貸倒引当金	△3,250	△3,250
投資その他の資産合計	854,646	863,572
固定資産合計	1,520,588	1,513,525
繰延資産		
社債発行費	198	124
繰延資産合計	198	124
資産合計	4,997,614	4,810,641

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	177,074	241,452
短期借入金	8,887	5,113
1年内償還予定の社債	15,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	233,088	211,470
リース債務	21,369	19,061
未払法人税等	103,753	65,185
未払消費税等	178,269	145,591
未払金	130,571	96,380
未払費用	389,398	115,617
賞与引当金	11,504	196,080
役員賞与引当金	-	10,770
受注損失引当金	120	150
その他	151,573	246,976
流動負債合計	1,420,611	1,363,851
固定負債		
長期借入金	419,148	360,206
リース債務	60,953	58,329
資産除去債務	40,211	40,341
退職給付に係る負債	8,047	8,166
役員退職慰労引当金	85,695	97,280
その他	2,750	2,968
固定負債合計	616,806	567,291
負債合計	2,037,417	1,931,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	642,596	642,626
資本剰余金	576,099	576,129
利益剰余金	1,682,495	1,595,459
株主資本合計	2,901,191	2,814,215
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	58,999	65,278
その他の包括利益累計額合計	58,999	65,278
非支配株主持分	5	4
純資産合計	2,960,196	2,879,498
負債純資産合計	4,997,614	4,810,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
売上高	2,117,362	2,388,798
売上原価	1,339,948	1,532,968
売上総利益	777,414	855,830
販売費及び一般管理費	579,922	762,150
営業利益	197,491	93,679
営業外収益		
受取利息及び配当金	596	1,434
助成金収入	330	-
保険配当金	4,067	7,025
為替差益	5,550	-
その他	887	3,261
営業外収益合計	11,432	11,721
営業外費用		
支払利息及び社債利息	1,685	3,167
社債発行費償却	74	74
営業外手数料	738	728
為替差損	-	6,731
その他	11	15
営業外費用合計	2,510	10,716
経常利益	206,413	94,684
特別損失		
固定資産除却損	157	169
特別損失合計	157	169
税金等調整前四半期純利益	206,256	94,514
法人税等	64,126	51,103
四半期純利益	142,130	43,411
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	142,130	43,412

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	142,130	43,411
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△10,445	6,278
その他の包括利益合計	△10,445	6,278
四半期包括利益	131,684	49,690
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	131,684	49,691
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ITO&BPO 事業	クラウドソ リューショ ン事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,367,235	715,655	2,082,890	34,471	2,117,362	—	2,117,362
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	73,824	73,824	△73,824	—
計	1,367,235	715,655	2,082,890	108,296	2,191,187	△73,824	2,117,362
セグメント利益 (注) 1	124,979	70,352	195,332	2,159	197,491	—	197,491

(注) 1. 全社共通の費用は一定の比率で各セグメントに配賦しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業（海外子会社で展開するソフトウェア開発、システム運用・保守業務、研究開発）であります。

3. セグメント利益は営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ITO&BPO 事業	クラウドソ リューショ ン事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,622,552	750,160	2,372,712	16,085	2,388,798	—	2,388,798
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	92,427	92,427	△92,427	—
計	1,622,552	750,160	2,372,712	108,513	2,481,226	△92,427	2,388,798
セグメント利益又は 損失(△) (注) 1	85,372	24,266	109,638	△15,958	93,679	—	93,679

(注) 1. 全社共通の費用は一定の比率で各セグメントに配賦しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業（海外子会社で展開するソフトウェア開発、システム運用・保守業務、研究開発）であります。

3. セグメント利益又は損失は営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
減価償却費	11,013千円	14,847千円
のれんの償却額	2,848千円	20,663千円